

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.17 2018年11月2日(金)

新潟県知事、次年度予算概算要求で各部署へ「-10%シーリング」を指示
「新潟私学助成すすめる会」が担当部署へ“増額要求”を緊急要請!!

圧倒的な署名数を積み上げることが至上命題!!

にいがた私学助成すすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に!

2018年11月2日

新潟県私学の公費助成をすすめる会
新潟市中央区弁天橋通1-13-13
TEL 025-286-7600

花角県知事が表明 来年度県予算要求にマイナス10%の概算要求基準

佐久間寛道県総務管理部長(左)に来年度予算の増額要求を求める要望書を手渡す「すすめる会」の中村会長。



佐久間総務管理部長(左から二人目)に具体的資料をもとに要望する「すすめる会」の要請団。(10月30日 新潟県庁)

県私学の公費助成をすすめる会(「すすめる会」)は10月20日、佐久間県総務管理部長への緊急要請行動を実施しました。「すすめる会」の中村会長をはじめ同会のメンバー五名が参加しました。

今回の要請は、花角県知事が10月16日の記者会見で、二〇一九年度県予算の各部署からの概算要求に今年度予算比で一〇%削減の概算要求基準を設けると表明したことを受け、私学の関係部署である県総務管理部の佐久間寛道部長に会い、来年度私学関係予算に対し増額要求されるよう要請したものです。

要請の中で「すすめる会」は、「もし仮に、今年度私立高校関係予算比でマイナス一〇%となった場合、経常費助成で一校平均約二九〇万円の削減に、県独自の学費助成で約一七〇万円の削減に相当する」として、「学費や教育条件の公私間格差がますます広がります。子どもたちが私立高校で学び続けることができない、専任教員不足がさらに拡大する。削減でなく増額要求を行ってほしい」と強く訴えました。

これに対し佐久間総務管理部長は、「教育環境を整えていくことは、将来にとって大切だ。ただ、税収の減少や国からの地方交付税の減少により県財政は厳しい。どこかを増やせばどこかを削らなければならない」と厳しい県財政への理解を求めました。「すすめる会」は、教員不足による職場

「私学関係予算の増額要求を」 「すすめる会」、県総務管理部長に要望

の多忙な状況や高学費納入に苦勞する親の姿を見て辛い思いをしている子どもたちの状況などの実態を訴え、重ねて増額要求に努力するよう求めました。

佐久間総務管理部長は「私の子どもも私学に入れ、PTA会長も五年続けた。私学の事情もわかる」と述べ、私学に対し理解を示しました。また、佐久間部長は「子どもたちにもっとお金をとる声が大きくなれば(そちらに)予算を振り向ける(ことも)」などと述べ、世論の大きさが予算増につながる可能性を示唆する発言もありました。終盤にさしかかった私学助成署名の数を増やすことが、世論の大きさにつながります。署名数増にむけ、引き続き奮闘しましょう。

私学助成署名を増やすことが、 県私学予算増額のカギ



来年度県予算概算要求で一割削減の概算要求基準を設けることを表明した花角県知事の記者会見の様相を伝える新潟日報の記事(10月17日付)

私学のひろば2018

十一月十一日(日)午後一時半〜四時半
■新潟県教職員組合会館・大会議室
講演・高校生パフォーマンス・パネルディスカッションなど